

## 1 事業評価総括表（令和2年度）

（単位：円）

番号	措置名	補助事業の名称	補助事業者名又は 間接補助事業者名	補助事業に 要した経費	補助金充当額	備考
1	地域活性化措置	事業運営基金造成事業	綾部市	151,715,160	151,715,160	総事業費 151,715,160
2	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営措置	施設維持補修基金造成事業	綾部市	41,300,000	41,300,000	総事業費 41,300,000

2 事業評価個表(令和2年度)

番号	措置名	補助事業の名称			
1	地域活性化措置	事業運営基金造成事業			
補助事業者名又は間接補助事業者名		綾部市			
補助事業実施場所	綾部市若竹町				
補助事業の概要	ごみ収集業務委託事業に充当するための基金造成事業 充当予定期間(令和3年度～令和6年度)				
補助事業に関する主要政策・施策と目標	<p>補助事業に関する主要政策・施策 第5次綾部市総合計画 後期基本計画(平成28年度～令和2年度) 第5章 自然豊かで安全なまちづくり 第2節 廃棄物対策の推進 目標:市民・事業者・行政が連携し、ごみの減量を推進するため、分別収集・3Rなどの取組を推進し、快適に暮らせるまちづくりを目指します。 計画:3Rの活動を一層推進するとともに、分別収集の円滑な実施と適切な処理に努め、ごみ減量・資源化を促進します。</p>				
事業開始年度	令和2年度	事業終了年度	令和2年度		
事業期間の設定理由					
補助事業の成果目標及び 成果実績	定量的な成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和7年度
	1人当たりのごみ排出量(家庭ごみ) (年間)200kg	1人当たりのごみ排出量	成果実績		—
			目標値	kg	200kg
			達成度		
	評価年度の設定理由				
	PDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。				
	補助事業の定性的な成果及び評価				
	当該基金の造成により、今後4年間ごみ収集業務委託を安定的に実施する財政基盤が整いました。				
	成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

補助事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業運営基金造成件数		活動実績	件	1	1	1
			活動見込	件	1	1	1
			達成度		100%	100%	100%
補助事業の総事業費等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考		
総事業費		113,164,028	160,710,548	151,715,160			
補助金充当額		113,164,028	160,710,548	151,715,160			
補助事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法等		契約の相手方		契約金額	
基金造成		積立		—		151,715,160	
		計				151,715,160	
補助事業の担当課室		企画総務部 財政課					
補助事業の評価課室		企画総務部 財政課					

2 事業評価個表(令和2年度)

番号	措置名	補助事業の名称				
2	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営措置	施設維持補修基金造成事業				
補助事業者名又は間接補助事業者名		綾部市				
補助事業実施場所	綾部市若竹町					
補助事業の概要	クリーンセンター及び斎場の施設維持補修に充当するための基金造成事業 充当予定期間(令和4年度～令和6年度)					
補助事業に関する主要政策・施策と目標	<p>補助事業に関する主要政策・施策 第5次綾部市総合計画 後期基本計画(平成28年度～令和2年度) 第5章 自然豊かで安全なまちづくり 第2節 廃棄物対策の推進 目標:市民・事業者・行政が連携し、ごみの減量を推進するため、分別収集・3Rなどの取組を推進し、快適に暮らせるまちづくりを目指します。 計画:3Rの活動を一層推進するとともに、分別収集の円滑な実施と適切な処理に努め、ごみ減量・資源化を促進します。</p> <p>第6章 快適で誰もが住みよいまちづくり 第6節 斎場・墓地の適正管理 目標:厳粛な儀式の場にふさわしい施設として、斎場・共葬墓地の適正な管理運営に努めます。 計画:長期的な使用に耐えられるよう斎場の適切な維持管理と安全な稼働を行うとともに、利便性の向上に努めます。</p>					
事業開始年度	令和2年度	事業終了年度	令和2年度			
事業期間の設定理由						
補助事業の成果目標及び成果実績	定量的な成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和7年度	
	1人当たりのごみ排出量(家庭ごみ) (年間)200kg	1人当たりのごみ排出量	成果実績		—	
			目標値	kg	200kg	
			達成度			
	評価年度の設定理由					
	PDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。					
	補助事業の定性的な成果及び評価					
	当該基金の造成により、今後クリーンセンター及び斎場の施設維持補修を安定的に実施する財政基盤が整いました。					
	成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無						

補助事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	施設維持補修基金造成事業		活動実績	件	1	1	1
			活動見込	件	1	1	1
			達成度		100%	100%	100%
補助事業の総事業費等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考		
総事業費		30,000,000	27,000,000	41,300,000			
補助金充当額		30,000,000	27,000,000	41,300,000			
補助事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法等		契約の相手方		契約金額	
基金造成		積立		—		41,300,000	
		計				41,300,000	
補助事業の担当課室	企画総務部 財政課						
補助事業の評価課室	企画総務部 財政課						